



# 学校だより

令和6年度 9月号  
令和6年9月2日発行  
川口市立差間小学校



「さっしマン」

学校教育目標 **さわやかな心** **しんけんな目** **まなぶ力**



## 失敗からも学ぶ

校長 中河 正明

「二百十日」は、立春から数えて、ちょうど二百十日に当たる日のことで、9月1日か、2日頃です。日本では「二百十日」は、大きな台風になりやすい日として昔から心配されてきましたが、統計の上では必ずしもそうではないようです。

しかし、「秋の台風は韋駄天で風が強い」とか、「秋の台風は根付石を転がす」などの言い伝えがあるように、勢力が強いものが多く、駆け足の神様韋駄天のようにスピードが速く、不意をつかれて大きな被害をもたらす場合があるので、細心の注意が必要とされています。

細心の注意をしても、上手くいかない時があります。

2010年の6月に行われた、サッカーW杯（南アフリカ大会）は、日本中を熱くしました。W杯直前の国際試合での成績から、予選突破を予想した人は少なかったのではないのでしょうか。私も当時は、監督交代を願っていた一人でした。

しかし、予選を突破したとたん、報道内容が予選前のそれと大きく変わるのも不思議なものです。そのような中で、駒野選手のPK失敗を非難する報道がされなかったことは、大変喜ばしいことでありました。報道も、池に落ちた人の頭を更に押すことはしませんでした。駒野選手にとっては、たった一本のPKの怖さを学んだW杯だったと思います。

「たった一球」で人生を変えた人もいました。昭和32年、高校野球南関東大会が、旧大宮市営球場で行われました。千葉県立佐倉第一高校（現佐倉高校）と熊谷高校戦で、佐倉一高の無名選手が、バックスクリーンへ特大のホームランを打ったのです。無名選手は、一躍全国区の選手となり、プロ野球界からも注目の人となりました。この無名選手こそ、元巨人軍監督長島茂雄氏です。彼の高校時代のホームランは、後にも先にも大宮市営球場でのその一本だけです。長島氏は、「あのホームランが、プロ野球でやっていける自信となった」、と後に語っています。立教大学進学後、東京六大学リーグで、通算ホームラン記録樹立（当時8本）。その後、プロでの活躍は言うまでもありません。自信は、人間を一回りも二回りも成長させてしまうものです。

一方、ホームランを打たれた熊谷高校の福島投手は、「あのホームランを打たれたことで、野球の道を断念した」、と語っていました。大学卒業後、サラリーマンの道を選んだのです。たった一球のために。

「失敗の最たるものは、何一つそれを自覚しないことだ」とは、トーマス・カーライルの言葉です。差間っ子も、失敗からも学び、更に大きく成長することを期待します。

いよいよ2学期の始まりです。

日	曜日	9月の行事予定	下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日							
2	月	3時間授業/始業式	11:40下校					
3	火	給食開始/1年ピアノ教室(5校時体育館)/5時間授業①	B	B	B	B	B	B
4	水	発育測定(6年)/避難訓練/5時間授業②	B	B	B	B	B	B
5	木	発育測定(5年)/委員会(5校時)/5時間授業③	A	A	A	A	B	B
6	金	発育測定(4年・な)/通学班長会議	B	B	B	B	B	B
7	土							
8	日							
9	月	発育測定(3年)/正金SC来校日	B	B	B	B	B	B
10	火	発育測定(2年)/児童集会③	B	B	C	C	C	C
11	水	発育測定(1年)/校外学習(4年)	B	B	B	★	C	C
12	木	クラブ④	A	A	B	C	C	C
13	金	代表委員会/通学班会議・一斉下校	B	B	B	B	B	B
14	土		★コドモンで目安を連絡します					
15	日							
16	月	祝 敬老の日						
17	火		B	B	C	C	C	C
18	水		B	B	B	C	C	C
19	木		A	A	B	B	B	B
20	金	教材費集金日③/3年スーパーマーケット見学	B	B	B	B	B	B
21	土							
22	日	祝 秋分の日						
23	月	祝 振替休日						
24	火	音楽朝会⑤	B	B	C	C	C	C
25	水		B	B	B	C	C	C
26	木	月曜日課③	B	B	B	B	B	B
27	金	たてわり遊び/小1年生訪問	B	B	B	B	B	B
28	土							
29	日							
30	月		B	B	B	B	B	B

※行事や下校時刻は予定ですので、変更となることがあります。

A:13:50、B:14:35、C:15:25

## 避難所運営会議(南海トラフ臨時情報をうけて)

毎年、夏季休業中に差間町会・大森会長、行衛町会・園部会長、2町会担当者、差間小担当市役所職員、本校避難所担当教員で、避難所運営会議を行っています。今回の話題の中心は何といっても「南海トラフ臨時情報」。



巨大地震発生時に避難所のできることを考えました。  
①トイレ問題、②備蓄物資の量問題、③避難所となる体育館の空調問題、④収容可能人数問題、⑤運営者高齢化問題 ⑥ベット問題等・・・。「課題は山積み」が確認できたことが成果でもありました。

ここでお伝えしたいのは、「避難所に過度の期待はできない」ということです。いまさらですが、在宅避難の重要性、各家庭での物資(とくにトイレ)備蓄の重要性が認識されました。子供たちにも防災教育の一環として、教えていかなければいけないことですが、ご家庭でも「家庭の備え」とともに、お子さんに「生き残るための家庭教育」をぜひ、お願いいたします。

**トイレ → 1人35回分・1日5回×7日(ライフライン回復予想)**

**35×家族の人数=最低備蓄数** ひとつの指標として

両町会長とも、「町会の未加入者が多く、せめて加入していれば非常時の安否確認や連絡・協力体制がしやすいが・・・」と話しておりました。差間町会では炊き出し、起震車、消火体験など毎年工夫を凝らした防災訓練を2月に行っておりますのでお子さんといっしょにご参加されたり、ご加入を考えたりされてはいかがでしょうか。

**ぜひYouTubeで「避難所」と検索してみてください。**

## 飯塚邦夫教諭が着任しました。



飯塚邦夫教諭(4年2組担任初任者研修時の授業補充として勤務)が、2学期より週3日勤務する欠員補充教員として改めて9/1に着任いたしました。5年2組の教科の一部、3年生書写等を担当します。これに伴い、4年生理科を専科の篠田教諭が担当いたします。

引き続き、子供たちが授業に集中できる環境を整えていきます。よろしくお願いたします。

## 彩の国かがやき教師塾



埼玉県では『「埼玉の未来を育てる」教員志望の大学生を広く集め、先生の魅力を知り体験的に学ぶ』という趣旨のもと、先生の仕事ボランティア体験活動を推進しています。2学期の間、6年1組を中心に大学生の渡辺天音さんが参加することになりました。(教師の仕事の魅力を感じてくれるといいですね)

## 先生たちの夏休み

夏休み、「先生たちも宿題!」ではないですが、教師としてのレベルアップ(魅力ある先生、楽しい・わかる授業)のため、差間小学校でも「校内研修」を行っています。

体育の実技研修では感覚づくりの運動遊び、表現ダンス、ボール運動などについて、人権の研修では同和問題について、情報教育ではGIGAスクール端末を活用した授業についてなどを行いました。道徳の授業研修では、青木中央小学校の石川庸子校長先生をお招きし、校長先生自ら、1時間の授業をぎゅっと濃縮して示範していただきました。授業場面のポイントで、それぞれの意図や、子供たちの活動へつなげる秘訣について、差間小の先生を子供役に見立て、丁寧に教えていただきました。

「話し合う授業はやっぱり楽しい」「1時間の授業の目的(目標・課題)を、子供たち自身で考えて立てると、授業への意欲がぜんぜん変わってくるんだね。」などと、先生たちからは、子供役になったからこそわかる指導の学びがありました。

2学期の授業に向けての意欲が奮い立ったようです。1年間でいちばん長い2学期のスタートです。今学期も保護者・地域の皆さんと連携・協力しながら、教育活動を進めます。よろしくお願いたします。

